

地域の声に寄り添い、 奈良の魅力を高めるまちづくり

塚本まさる

Tukamoto Masaru
奈良市議会議員

議会活動報告



近鉄大和西大寺駅周辺のまちづくり 安全対策や災害、救急対策など要望

奈良市議会の塚本勝は、昨年度の市議会活動の中で、近鉄大和西大寺駅周辺の今後のまちづくりや整備について本会議の一般質問や委員会や委員会で質問、提言を行いました。これまで求めてきた交通量の多い道路の安全対策については昨年度、横断歩道や信号機が新設され「スクランブル交差点」として整備されました。このほか、災害、救急対策や鴻ノ池運動公園整備、高齢者、障害者福祉についても取り上げ、要望、提言を行いました。

北口駅前広場のベンチ撤去指摘

バスやタクシー乗降場に設置完了

県内最多の利用者がある大和西大寺駅周辺整備やまちづくりについて市の考えをただし、北口駅前広場に設置されていたベンチが撤去されたことで市民利用に不便が生じていることを指摘しました。

また、駅前広場前の交通量の多い道路の危険性を再度指摘し、自動車と歩行者の安全確保を強く求めました。

市に対しても市民の方々からベンチ設置の要望が多くあり、これを受けて市は北口駅前広場にタクシー、バス、一般車のそれぞれの乗降場にベンチを設置することを

横断歩道と信号新設

「スクランブル交差点」整備

私がこれまで指摘してきた駅前広場北側交差点の安全対策については3月末、県道104号谷田奈良線と市道西大寺一条線が交わる交差点が整備されました。また横

断歩道と信号を新設し「スクランブル交差点」とし、歩車分離が行われました。加えて、南北と東西を結ぶ横断歩道には、視覚障害者の安全対策として「エスコートゾーン」も設けられました。

西大寺一条線は、道路法改正で新設された「歩行者利便増進道路」(ほこみち) キーワードとして市は整備を進めていく予定で、これにより歩道部分の利活用の制限が緩和されます。私は魅力あるまちづくりに向けた市の積極的な調査や検証を行うよう強く求めました。

市は「ほこみち制度」の活用に向け、歩行者や芝生広場の利用状況調査を行い、また芝生広場のトライアルサウンドディングを実施し、その中でイベント開催時の歩行者

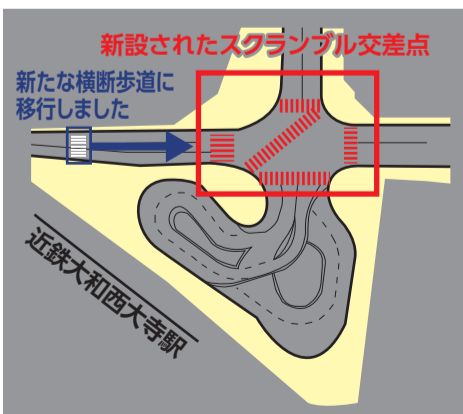
動線の変化など周辺への影響を観察する予定をしていると答弁。これらの結果を踏まえて市は今後、活用方針を定めるとし、私は「安全の確保と活性化の両立」に向けて真摯に取り組むよう要望しました。

「ほこみち」：「道路空間を街の活性化に活用したい」「歩道にカフェやベンチを置いてゆとり滞りできる空間にしたい」など、道路への新しいニーズが高まっており、国土交通省は道路空間の構築を行いやすくするため新たに「歩行者利便増進道路」(ほこみち)制度を創設しました。



上京して予算を要望

私たち奈良市議会の自民有志は昨秋上京し、地元の小林茂樹衆院議員と仲川元庸市長と共に、八条地区のJR新駅を中心としたまちづくりに活用する国の社会資本整備交付金の増額を財務省と国土交通省に求めました(写真)。社会資本整備交付金は、市の道路整備や改良に活用されているもので、自民有志の奈良市議は毎年、上京して予算要望を行っています。新駅や京奈和自動車道をはじめ、まちづくりが加速化する八条地区の状況を国に伝え、予算措置を要望しました。



【主な役職】

- 奈良市消防団都跡分団団長
- 奈良市消防団都跡分団副団長
- 奈良商工会議所青年部OB朋友会役員
- 奈良納税協会貯蓄組合連合会常任理事
- 奈良飲食店組合役員
- 平城宮跡保存会監事
- 奈良県防衛協会常任理事
- 奈良経済産業協会経和会会員
- おん祭り大名行列保存会会員
- 日本バーテンダー協会奈良支部会員

